

| | | |
|-------|---|--|
| オオバメギ | <i>Berberis tschonoskyana</i> Regel | 絶滅危惧 I 類 |
| | | メギ科 |
| 選定理由 | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。 | 写真(大塚英樹) |
| 形態の特徴 | 高さ2mほどになる落葉低木。疎らに分枝して、ほぼ球形の樹形になる。メギに比して稜や溝ははっきりしなくて、棘が少ない。葉は紙質で薄い。花期は5-6月。短枝より総状花序をやや垂れ気味に出し、数個の花をつける。花は緑黄色で、径約6mm。果実は長さ約10mmの長楕円形で赤色に熟す。 |  |
| 生態的特徴 | 山地に生える。 | |
| 分布状況 | 日本固有の種。関東以西の本州、四国、九州に分布する。県内では県北の1地域で生育が確認された。 |  |
| 減少要因 | 本種の分布域は県北の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。 | |
| 保全対策 | 生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。 | |
| 特記事項 | | |
| 参考文献 | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982) | |

文責:佐藤和良